

2018 8/5~8/10

熱い夏の思い出

志賀高原合宿 作文 小学部



I・Sさん

私がこの合宿で得たことは、問題が分からなかった所をさじを投げずに取り組むということでした。いつもの私だと後回しにしてしまうことが多々あり、それを克服できたと思えました。

また、テストなどでは直しがすごく大切ということに気が付き、直しをきちんとすることで次の似た問題をできるように became と分かりました。

そして、算数では一問、一問の大切さを知りました。前はできないからいいやとあきらめてしまう問題もするようになり、それによって大きく点数が変わってしまうということに気が付き、これからもあきらめずにトライしようと思えました。



N・Nさん

私がこの合宿で学んだことは、仲間がいるからこそ、できるということ。一人で勉強していると「少し点数が悪くてもいいか」と思ってしまうけれど、私は、「この合宿で他の子に負けるの



が悔しくて、たくさん勉強することができました。また、分からない所を放っておかず、先生に聞きに行けたりすることができたのは、よかったです。私ががんばった理由は、シールをもらえるとということにもあります。

シールは名札に貼るので、人より多く貼りたいと思っただけでがんばることができました。スターコレクター賞はもらえなかったけれど、自分なりにがんばったので、よかったです。勉強は一人でもできるものだと思っていなければ、みんなややるからこそ、できることがあるなと思えました。この合宿で、それを実感することができました。

Y・Yさん

この合宿で私は何事もあきらめずに最後までやり遂げるということを知りました。



会ったことのない桜台の子たちともバスの中で仲良くなり、ちよつとずつコミュニケーションを取れるようになりました。しおりを見やすくすることが分かるように自分の頭に入れておくこと



を意識してやりました。

テストでは国語で二回
トップを取ることができ
ました。漢字・語句テスト
ではニコちゃんシールを
四回とることができまし
た。一回は九十点で残念な
点数でした。算数では一回
は赤の星、二回は青の星を

取ることができました。

この合宿でお世話になった先生方や友達に感謝し
たいです。仲間がいたからこそ、この勉強のつらさ
に耐えることができたと思います。世話になった父
や母、おばあちゃんに家に帰ったら「ありがとう」
という感謝の気持ちを込めてお礼を言いたいです。
合宿の五日目は少し長く感じました。家に帰るまで
が合宿なので、テキパキと行動していききたいです。
本当にありがとうございました。

I・Aさん

私は、それほどの器でも
ないけれど、スターコレク
ター賞を狙っていました。
正直言って、甘く見ていま
した。さらっとスターコレ
クター賞が取れると思って
いた訳じゃないけど、さほ
ど難しいと思っていません
でした。しかし、実際は違



いました。光が丘の子にも
武蔵関の子にも、こてんぱ
んにやられました。合宿中
毎日、毎日、順位と点とシ
ールだけを気にしていま
した。努力しても一位の子
を超えられない歯がゆさ
に、涙し、自分の腕を噛み
ました。時には、班員に冷
たくしてしまうこともあり
ました。本当に迷惑をかけた
と思います。本当に申し訳
ないです。

その後も、三日目になっても、四日目になっても、
私は自分の成績しか気にしませんでした。最も大事
な事に気付いたのは、本当に最後でした。

五日目、私は国語のテストで同率一位となり、嬉
しかったです。でも、同時に、またも歯がゆさが全
身を通りました。私と同率一位となった子は、武蔵
関で、最優秀者の子でした。私はその子を超えたい
と思い頑張っていました。けど、私は一度もその子
を超えられなかった。私の
心の中の何かが壊れてい
きました。

五日目の算数のテスト
では、私は間違いの八十%
がケアレミスでした。も
ちろん順位には載りませ
んでした。けれど、ケアレ
ミスさえ当たっていい



ば、私は一位でした。私は
結局、算数のテストで一位
を取ることはありませんで
した。

私はこの二つの結果から、
自分には何の進歩もなかつ
た、と思いました。最後に
はシールの枚数も他の子に
抜かれ、スターコレクター
賞はもらえませんでした。自
分の合宿の六日間(実質五日間)は何にもならなかつ
たと。自分の全てに失望しました。

そのまま合宿は終わると思っていました。何も残
すことなく。けれど五日目の最後、私にとってとて
も素晴らしい奇跡が起こりました。それは演芸会で
起こりました。みんなと歌って、踊って、叫んで。
最後まで超えられなかった武蔵関の子とも、私を抜
いてスターコレクター賞となった子とも。そして、
私は気付くことができました。私が悩んで、泣いて、
悔やんで、その一つ一つが、私の心の中で水となり、
心という名の土を固くし
ていつかということに
に。壊れていたはずの心
はいつのまにか元に戻り、
青い花を一つ咲かせてい
ました。その青色は、私
の体験した歯がゆさだつ
たのだと思います。けれ
ど、私はその花を見つけ





た時、「こう思いました。私は最後の演芸会でとても大切な事に気づけた。自分の感じた感情や、抱いた思い全てが軌跡である。これを土台として、私はもっと大きくなる。学力的な面でももちろんだけど、精神的にと。なぜ、青い花なん

かを見て、自分の歯がゆさなんかと向き合って、こんな風に前向きになれたのか。それは、青い花の中心に、淡いピンク色を見つけたからです。それは、この六日間の、大切な仲間と、素晴らしいクラスメイトと、明るい職員とともに過ごした、かけがえない時間だと思えます。私はこの合宿の思い出を絶対に忘れません。そしてこの合宿で私はきつと成長したと思えます。それは一番大切なことに気づけたから。私はこの合宿で何も残していない訳じゃない。歯がゆさと共に、気付いた奇跡に、残すことのできた軌跡に、周りの友に、先生に、そして自分自身に、私は心より感謝します。

T・Nさん

「勉強は団体戦だ」と始業式の時の先生の言葉が今では分かる気がします。私は算数のケアレスミスが多く、間違える度に自分がゆるせないほど悔しい



思いがあふれてしまっていました。「自分は何をやっても成長していかないのではなか」 「みんなはどんどん伸びているのに…」とみんなと比べて、マイナスイメージにもなりました。そんな時、先生方が夜、打ち上げ花火を開催してくださいました。その頃は心も体も落ち込んでいたけれど、その花火を見て「もう少し頑張ってみよう」と思えました。夏の夜空での花火は空高く上り、満開に咲きました。自分もこの花火のように勉強での頂点を目指し、二月の受験には自分の行きたい学校に合格することができるよう頑張ろうと思えました。そして最終日、泣いても笑ってもこれが最後。不安を持ちながらもテストに挑みました。結果は今までの最高点です。「今まで頑張ったことが無駄ではなかった！」と喜びから涙が出てきました。合宿で私学んだことは、皆で競い、励まし合うことの大切さ、苦しくてもめげず、あきらめない自分を信じる気持ちを学びました。自分を信じ、あきらめずにいればどんな壁でも乗り越えることができると思います。もし、この先乗り越えられない壁にぶつかっても、仲間とともに頑張り抜いた五泊六日を

思いがあふれてしまっていました。「自分は何をやっても成長していかないのではなか」 「みんなはどんどん伸びているのに…」とみんなと比べて、マイナスイメージにもなりました。そんな時、先生方が夜、打ち上げ花火を開催してくださいました。その頃は心も体も落ち込んでいたけれど、その花火を見て「もう少し頑張ってみよう」と思えました。夏の夜空での花火は空高く上り、満開に咲きました。自分もこの花火のように勉強での頂点を目指し、二月の受験には自分の行きたい学校に合格することができるよう頑張ろうと思えました。そして最終日、泣いても笑ってもこれが最後。不安を持ちながらもテストに挑みました。結果は今までの最高点です。「今まで頑張ったことが無駄ではなかった！」と喜びから涙が出てきました。合宿で私学んだことは、皆で競い、励まし合うことの大切さ、苦しくてもめげず、あきらめない自分を信じる気持ちを学びました。自分を信じ、あきらめずにいればどんな壁でも乗り越えることができると思います。もし、この先乗り越えられない壁にぶつかっても、仲間とともに頑張り抜いた五泊六日を



思い出し、「きつと出来る」と自信に変えられる気がします。「この合宿は私の自信の源です。」

S・Sさん

私は合宿に行ってから、自分が変わりました。今までは先生に「見直しをしないさい」と言われ（めんどくさいな）と思いつつやっていたので、まちがいは見つかりませんでした。けれどこの合宿では、みんな本気でやっていて、気を抜いてしまうとみんなに一人だけ置いていかれるので、何回も、何回も、自分から見直しをしました。そして、見直しをしていなかった初日に比べ、五問も多く正解することができました。嬉しかったです。

他には、見て分かんないと、毎回解いていなかった記述問題を手をつけることができ、それが正解だった時、解いて良かった、とホッとしました。

この機会があったのでこれからの人生心強いです。どんなことがあっても、壁を突き破って、前に進んでいきたいです。

思い出し、「きつと出来る」と自信に変えられる気がします。「この合宿は私の自信の源です。」

S・Sさん

私は合宿に行ってから、自分が変わりました。今までは先生に「見直しをしないさい」と言われ（めんどくさいな）と思いつつやっていたので、まちがいは見つかりませんでした。けれどこの合宿では、みんな本気でやっていて、気を抜いてしまうとみんなに一人だけ置いていかれるので、何回も、何回も、自分から見直しをしました。そして、見直しをしていなかった初日に比べ、五問も多く正解することができました。嬉しかったです。

他には、見て分かんないと、毎回解いていなかった記述問題を手をつけることができ、それが正解だった時、解いて良かった、とホッとしました。

この機会があったのでこれからの人生心強いです。どんなことがあっても、壁を突き破って、前に進んでいきたいです。

K・Yさん

私は、合宿に行つて自分に自信が持てたと思います。今までは、私の苦手としている算数は強制され



て勉強していると自分の心の中でその気持ちがあつて、自信が持てませんでした。しかし、今回の合宿では算数も自分から「チャレンジ」して問題に取り組めたので、強制されて勉強をしているという考えがなくなり、自分から勉強をする姿勢を保つことができました。そこで、自分の自信が持ててたくさんの事にチャレンジすることができました。この合宿では、チャレンジすることのきっかけにつながった経験をさせてもらいました。



H・Rさん

私は、この合宿を通して、勉強に進んで解くようになり、勉強の姿勢が変わるようになりました。初めの勉強に対する姿勢は、授業にあまり集中できなかったり、皆と授業をしているので、いつも、授業についていけないかなど、心配や不安の気持ちがたくさんありました。でも合宿では、なぜか、授業に集中してできたし、当てられた時など、すぐに答えが浮かんできて、自分で成長している面が見れてとても嬉しかったです。そして一番嬉しかったのは、分からない所を先生に聞くことができるようになったことです。今まではずかしがついていて、できない所も、できないままにしていますが、自分から積極的に、話すことができたので、と



でも嬉しかったです。

K・Cさん

この合宿の私の決意は少しでも成績を上げて合宿を有意義なものにすることでした。そのために授業に少しでも集中し、先生が言っていた重要な事は必ずメモを取るようになりました。しかし算数のテストや国語のテストは時間が長く、集中が切れてしまうこともありました。また初めの方は算数のテストで計算ミスをしてしまったり、出来る問題が間違っていたりしてとても悔しかったです。三日目、四日目となると三位のシールをもらうことができず。初めてシールをもらった時、すごく嬉しかったです。国語でも、漢字語句テストは最後にも満足をとることができずとても残念でした。しかし長文テストでは三回目、初めての二位になれました。その時の嬉しさは忘れられません！



A・Rさん

私はこの合宿をして、勉強に対する姿勢が大きく変わったと思います。合宿に行く前は、なんと



なく勉強をしているという感じだったので、ほとんど点数が伸びず、すごく悔しい時もありました。けれども合宿をすると、勉強も中途半端な気持ちではなくなり、すごくやる気が出て「ここでは終われない」という気持ちが入り込めてきました。そこから勉強に集中して打ち込めば、だんだんと点数も上がって来て、嬉しい気持ちになりました。失敗をし、計算ミスをし、ちゃんと問題文を読んでなくて点を落としてしまっても、「次がんばろう」と思い、次に向けてしっかりと復習をしてこれからはなくせるように努力をし、くじけずに頑張ります。



G・Mさん

三つ目は、私が連絡委員になったことです。私は前までは人をまとめることをそんなにやっていませんでした。だから、私が連絡委員になった時には、不安が収まりませんでした。しかし、毎日やっているうちに、不安が解けてしました。そして職員も、みんな一つにまとまって、日々を過ごすことが出来ました。そして、みんなが努力した結果、光が丘の中の優秀班として選ばれました。四つ目は、友達を作ることです。初日、二日目、三日目、四日目までは武蔵関の人たちとは、全然しゃべっていませんでした。でも、五日目の演芸会の際に「一緒に歌いませんか」と





勇気を出して聞いてみたら、「いいですよー」と言ってくれたので、すごく嬉しかったです。

M・Rくん

ぼくは、この合宿に来て、つらいことや嬉しいことがたくさんありました。

「明日は明日の風が吹く」という言葉があります。その言葉を信じて、次の日、そしてその次の日に向かって合宿の時のように成長していきたいと思えます。また、自分が、めんどくさがりでもとも努力が足りない人間だということを知りました。そのことをしっかりと踏まえたくて、日々努力していきたいです。そして合格に向かって突き進みたいと思います。今回の合宿は僕の弱い所に気付くいい機会だったと思います。この合宿の日々を辛かった時に思い出させてほしいです。この合宿は受験が終わってから僕の一生涯の宝物になると思います。

S・Tくん

ぼくは、この合宿で計算が取れるようになりました。夏期講習の前半では毎回のように計算を間違えてしまっていたが、合宿に来て場が変わり、計算のほとんどがあつていて、集中力が上がった。



たと思います。

また「きついなあ」と思う時、友達や同じ組の人たちを見てみると、舌を巻くほどの点数を安定して取り続ける人や、さんねんぼくなっている人、勉強に集中している人がいました。その人達の姿を見て、勉強

に集中できるようになりました。あと、5泊6日という長そうで、短いこの時間を体験する間で自分が日ごろしている無駄な時間がどれほど大切で、また、かけがえないものだと感じました。

再度言いますが、この合宿では、勉強だったり、時間だったりなどという基本を教えてもらったような気がします。この合宿に来て良かったです。

O・Rくん

ぼくは、この合宿を終えて、自分の限界は過酷な環境になれば、ないということがわかりました。いつも、朝早く起きて、自習の時間に終わらなかつた宿題をこなしているうちに「あれ、おれってこんなに勉強を続けられるのか」と思ったと同時に、自らの立ち位置を知りました。なぜかという、自分の点を二倍しても一位の点に追いつかないことが多々ありま



した。その大きな壁にぶち当たった時に、自分のことをいつも支えてくれたのは、自分が合宿に行くための用意をしてくれた家族の優しさでした。その優しさに、少しでも恩を返すためには、この合宿で自分の気持ちを少しでも、いい方向に変えて、家族に分かってもらうことだと思いました。それを達成するために、日々その重みがどんどん増していき、時にはそのことで頭がいっぱいになってしまふこともありましたが、ただその辛さに耐えて今日に至っています。そしてこの合宿で学んだことを活かし、受験に合格ができるように復習をし、がんばっていききたいと思います。

K・Yくん

僕が合宿を振り返ると宿題が終わらなそうときは泣きそうになったりくじけそうになったりしました。でも先生に分からない所を聞いたりして、分かるように工夫して宿題を解いていきました。

志賀高原の気候は東京都と正反対で寒かったです。本当に季節が夏なのかと思いました。星空観望では東京で見れないほ



どの数の星があつて感動しました。突然の打ち上げ花火もあんなにきれいなのは初めてで形はゆがんでいるのもあつたけれど良かったです。ハイキングでは標高がこのホテルよりも高い二三〇〇mの所までリフトで行きました。空気を吸う時に、山の下の方よりも上の方が吸いづらかったです。

S・Rくん

ぼくは、五泊六日で夜十一時に寝て朝五時半に起きて宿題をやり、朝に宿題を終わらせるという宿題に追われながらギリギリの生活を送っていました。ぼくは普段早く起きて、眠くて寝てしまう習慣があるけれど、宿題が大量に出ていると危機感で目が覚めることが分かりました。一番心に残ったのは、先生が一番初めに言っていた「受験は団体戦」です。ぼくは、この合宿でK君と同じクラス同じ班だったので、頼り頼りながら二人三脚でした。多分K君がいなければ、十回以上正座になっていたかもしれません。

H・Sくん



ぼくは、この貴重な五泊六日の合宿を正直に本心を打ち明けますと、「面倒くさい」と思っていました。でも、実際にはとても短く、一日がいつもの一・五倍の速さで終わっていききました。次に志賀高原の自然や天体観測がとても楽しかったです。三日目のハイキングでは、霧や雲でミストを浴びているみたいで気持ちよく、皆で自然の中で遊んだのが楽しかったです。また、台風が来ているにもかかわらず天

の川や火星が綺麗に見え、貴重な体験ができました。

N・Kくん

ぼくは生活面でも勉強面でも成長したと思う。生活面ではどうすれば班の人たちと楽しく過ごせるかを考えた。そして先生に怒られながらも分かった事は、班の人たちと「協力する」ということだ。ぼくは今まで自己中心的に動いていたと思う。だから三日目から班の人たちと色々な話を話し合うことができ、三日目から自分が合宿の前に目標にしていた楽しく過ごすという事に少し近づいたと思う。この合宿で学んだ「協力する」と「時間を有効に使う」を東京に帰っても意識して勉強に取り組み、受験という大きな壁を打ち壊す。また合宿で変わった自分の姿をお母さんやお父さんに見てもらいたいです。

Y・Rくん



ぼくは、この五泊六日で分かったことが二つあります。一つ目は、友達と一緒に協力すると物事が一人で解決するよりは、色々な意見があつて、すぐに解決できるということが分かりました。今まで喋ったことのないこと喋って、性格が分からなかった子のことが、すごく分かるようになった合宿でした。二つ目は、しっかりと復習や濃く勉強をしなければ、みんなに置いていかれてしまうということです。初日の方は、算数と国語は得意な教科だから「復習しなくても大丈夫だ」と余裕にしていたら、皆に置いていかれてしまったことです。この事から、もっと濃く復習しなければならぬということが分かりま

した。

N・Kくん



生活面では、みんなに迷惑をかけたということ、朝しっかりと起きるといふ目標をやったのですが、初めは迷惑を掛けまくり。朝もしっかり起きず最悪でした。しかし、途中ぐらいにその目標がだんだんできるようになってきて、最後には迷惑をかける方ではなく、どちらかと言えば架けられる側になったということです。それがとても嬉しく、少し考えてみると実際の授業でもそれは生かせる事だと思えます。正座もたくさんしたけど、それがぼくのかてになると思います。

H・Tくん

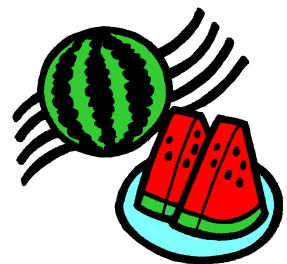
僕がこの合宿に来て印象に残ったことは「連絡委員としての仕事」でした。最初の日八月五日、ぼくが、まさか連絡委員になるなんて思っていまませんでした。硯川ホテルに着き、初めて「光が丘・桜台の連絡委員集合」と呼ばれた時、早めに行けなかったが、だんだん何か声がした時は、一応、廊下に出ることで遅れる事を防いだ。また連絡委員として、情報をきちんと伝えられなかったが、先生の話をよく聞き、何回も時間や持ち物を伝えて、みんなが遅れないようにした。部屋の風紀では、最初は風紀まで手が回らず「×」ばかりついていた。しかし、危機感を感じ、みんな部屋をきちんと確認した。すると、そんなに「×」がつかなくなった。「やればできるんだな」そんな風に思った。



夢



夏





あすなりの
高きいずえに
夢みたり
思いのかぎり
はばたく我を

日本教育学院 **光が丘教室**